

宮本憲一先生「京都新聞大賞受賞祝賀会」に参加して

年末に滋賀県の石山で宮本先生の京都新聞大賞「文化学術賞」受賞祝賀会があった。先生の長年にわたる教育研究と地域社会への貢献、とりわけ環境経済学の確立に大きく貢献されたことが高く評価され、栄誉ある受賞となった。祝賀会は先生が学長をつとめられた滋賀大学を中心に企画され、荒れ模様の天気ながら多くの参加があった。



奥様とご一緒に入場されて会が始まり、水田洋先生の祝辞、そして先生の挨拶へとつづいた。1997年に京都議定書を策定した地である京都を代表するメディアから、環境経済学などにより「文化学術賞」を受賞されたことは意義深いものがある。祝賀会では懐かしい先生にもお会いでき嬉しかった。とくに京大名誉教授の三村浩史先生には久しぶりにお会いした。先生には院生の頃に科学研究費の関係で大変お世話になった。京大キャンパスで先生と一緒に深夜まで書類づくりをしたことが懐かしく思い起こされた。

祝賀会のあと、水田先生と名古屋まで一緒できたことも幸運であった。水田先生は宮本先生より一回りほどの高齡ではあるが、じつにお元気で階段など私より早く上られるほどであった。水田先生はアダム・スミスをはじめ社



会思想史研究の大家であり、国際的に活躍されている先生である。その先生と2時間余りお話できたことは本当に嬉しかった。忘れられない祝賀会とその帰路となった。

(2007年1月4日 記)